

みんな仲良く心は一つ

成田小学校
合唱部

わたしたち成田小学校合唱部は、部員114人のマンモス課外クラブです。練習は、朝と放課後、音楽室で行っていますが、いつもすし詰め状態、振り付きの歌などでは、となりの人とぶつかってしまいます。



笑顔で楽しく

指導してくれるのは、顧問の伊藤悦子先生。いつも優しく、楽しく、ときには厳しく教えてくれます。

昨年、わたしたちは、市の青少年感動芸術劇場に出演しました。プロ歌手の指導を受け、国際文化会館大ホールで、大勢の観客の前に歌いました。あのときの緊張と感動は、今



口を大きく開けて

も忘れられません。大舞台を経験したことで自信がつき、昨年のNHK全国学校音楽コンクール千葉県大会で



ことしもみんなでがんばるぞ！

は金賞を受賞。県代表として出場した関東甲信越ブロック大会では銅賞に輝きました。また、12月には市内のホテルで「クリスマスコンサート」を開くことができました。

ことしも2月23日、青少年感動芸術劇場の舞台に立ちます。今は、一番で歌う曲の練習の真っ最中。一生懸命練習して、がんばって歌うので、わたしたちの「美しい日本の四季の歌」を、みなさんまで聞きにきてください。

なかまと一緒(21)

継続は力なり (Practice makes perfect)

60歳から英語に親しもう会



何度も反復練習

練習が苦になりません。繰り返し何度も反復練習していると、自然と覚えるものですね。恐らく頭で覚えるというより体に取り入れるという感じだと思います。まさに「習うより慣れろ」です。

少しずつ英語に慣れ、度胸がつき、思い切った声を掛けてみると、相手があなうすいてこたえてくれる。とてもうれしかったです。相手の言葉を正確に理解することはまだ無理ですが、頭の中でイメージできるようになりました。手振り身振りを交えて返すと通じるんです。

60歳からの手習いですが、みなさん向上心が旺盛です。これからは英語で仲間づくりが広がったら最高ですね。

時間や余裕もできたので、以前から習いたいと考えていた英会話にチャレンジしました。海外旅行のときや外国人の多い成田で役立つと思ったのです。

サークルでは、わたしたちが納得するまで何回も丁寧に教えてもらえます。おかげで毎回の

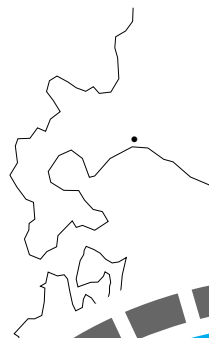


新しい世界が広がります

市民の

散歩の途中で ホッキ貝拾い

麻生 祥二さん(公津の杜)



わたしのふるさととは北海道とまこまい苦小牧市です。地名の由来はアイヌ語で、沼と川という意味です。今では内地(本州のこと)からのカーフェリーが着く港として知られています。が、ここにはもともと湾は無く、陸地を掘って作られたものです。苦小牧は、明治時代に大きな製紙工場ができて発展した「紙の町」。昔からパルプを製造するために使う薬品のおいが町中でしていたことを覚えていいます。

わたしは5人兄弟の一番下で、上には兄と3人の姉がいました。家は街の中にありましたが、周囲に広がる苦小牧の自然は忘れられません。7月になるとよく兄と姉に連れられて山にハスカップの実(アイヌの不老長寿の実で甘酸っぱい味)を探りに。木は1mくらいのかんぼく灌木で、子ども



苦小牧港とホッキ貝

もが実を探るにはちょうど良い高さでした。夏早起きをして海岸へ散歩に行くと、浜辺には打ち上げられたホッキ貝がゴロゴロ。最近スーパーなどで売られているものと違い、当時の貝は真っ黒で、大きさはハマグリの5倍くらいありました。2、3個拾って帰ると母がバター焼きに。今思うと苦小牧の大自然に育てられたような気がしています。

結婚を機に成田に住んで34年。成田市の発展、様変わりには目を見張るものがあります。飯仲も明るい農村から、落着いて便利な公津の杜へと大きく変貌へんぼうを遂げました。ただ、今までの人情味あふれた成田人の気質を忘れないようにしてもらいたいですね。

ふるさとトーク(90) 北海道苦小牧市

ひろば



こんにちは
赤ちゃん 78

大倉百々華ちゃん(飯田町)

スクスク のびのび 280

山村和希くん(3歳) 加良部
拓海くん(1歳)

幼稚園でもちつきをしたよ。きなこのおもちをたくさん食べたんだ。給食も残さないよ。いっぱい食べるからいつも元気。大きくなったら、仮面ライダーになりたいな。



細川篤也ちゃん(美郷台)



ペット大好き 60



長谷川奈穂子さん(押畑)
ピンク(メス・左)
ミンシヤ(メス・右)

チワワは小さいのでとてもひ弱に見えますが、意外と丈夫で飼いやすい犬です。歯石がたまりやすいので、歯石とりはこまめにしています。チワワって2頭、3頭とたくさん飼いたくなるんですね。